

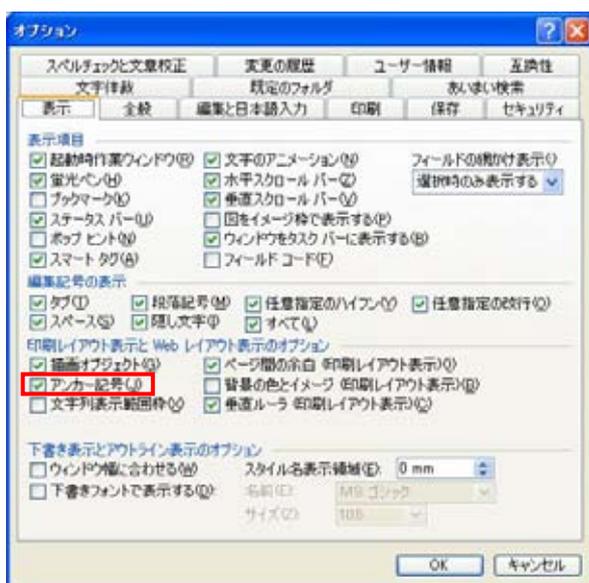
図形・オブジェクトを固定する

図形やオブジェクト(写真やイメージなど)が挿入された文書を作成していると、図形やオブジェクトが移動したり消えたりすることがあります。アンカー記号  を使用すると図形・オブジェクトが固定されます。

アンカー記号を使って図形を固定するには

アンカー記号  を表示するには

1. [ツール] から [オプション] を選びます。
2. [オプション] ダイアログの [表示タブ] を開き、[印刷レイアウト表示と Web レイアウト表示のオプション] 項目から[アンカー記号] のチェックをオン にします。
3. OK ボタンをクリックします。

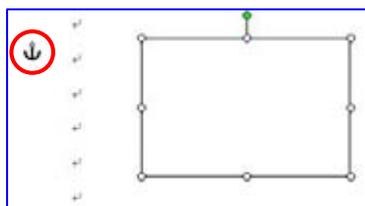


注意!

アンカー記号は図やオブジェクトを選択しているときに表示されます。

図形描画時のアンカー記号

図形描画ツールで図形を挿入すると、アンカー記号が表示されます。

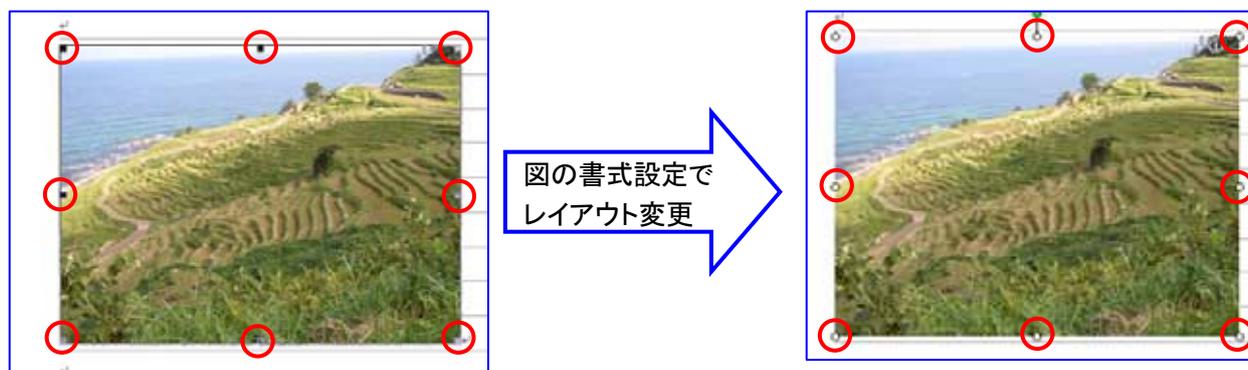


作成者: SystemKOMACO

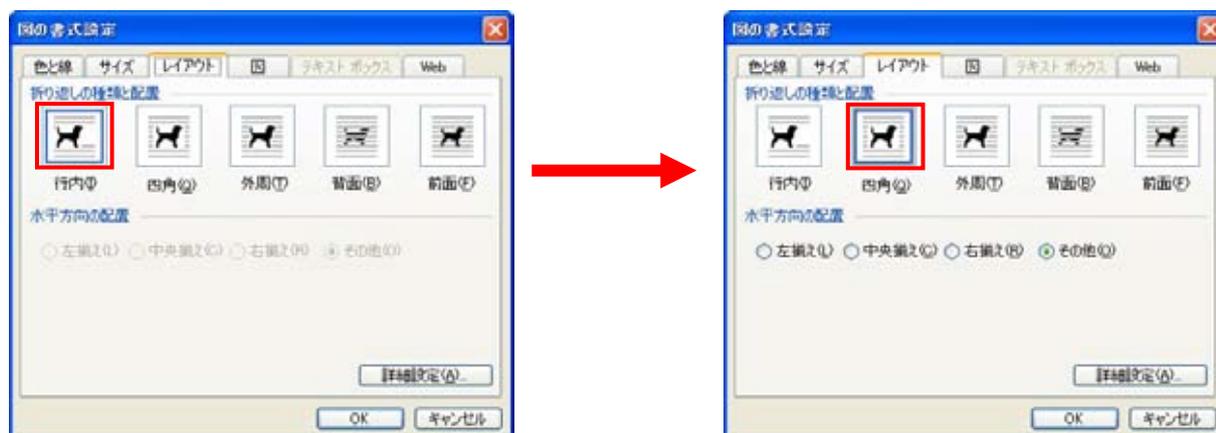
オブジェクト挿入時にアンカー記号を表示させるには

デジタルカメラで撮影したイメージやクリップアートなどのオブジェクトを挿入すると、アンカー記号が表示されません。これは、オブジェクトのレイアウトが [行内] という状態になっているためです。挿入したオブジェクトに 8 個の小さい四角 ■ が確認できます。

[図の書式設定] でレイアウトの変更を行い、[四角] にします。



1. 挿入した図を右クリックし、[図の書式設定] をクリックします。
2. [図の書式設定] ダイアログの [レイアウト] タブで [行内] から [四角] に変更します。
3. OK を 2 回クリックします。



参考:[行内] はどんなときに使うのか

[行内] レイアウト図は、文書中にイメージ (例 ) を挿入する場合や、罫線の中に使用する場合などに使います。



Hint!

罫線内で加工や合成した図・オブジェクトを使用する場合には、一度[四角]で作業をし、[行内]にレイアウトを変更してから挿入します。

作成者: SystemKOMACO

アンカー記号を固定する

アンカー記号は段落と関連付けられて配置されます。挿入された図の位置によっては、図の左上に重なるように配置されることがあります。図を右側に移動すると表示されます。



アンカーを削除されにくい見出しや行へ移動(ドラグ)させます。ただし、他のページへ移動することはできません。

1. [図の書式設定] ダイアログを開きます。
2. [レイアウト] タブから [詳細設定] ボタンをクリックします。

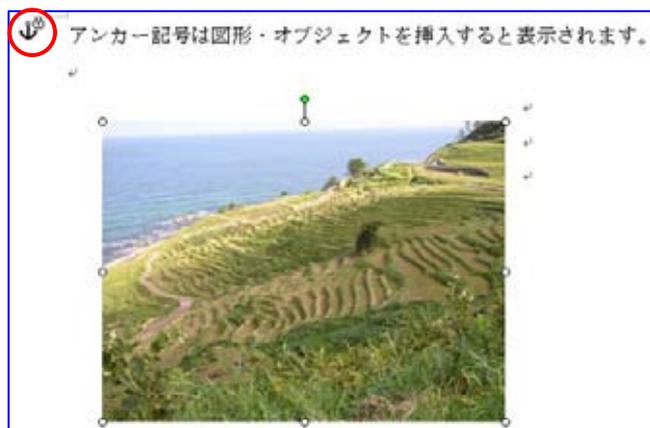


3. [レイアウトの詳細設定] ダイアログで [配置] タブを開きます。
4. [オプション] 項目で、[文字列と一緒に移動する] チェックをオフ、[アンカーを段落に固定する] チェックをオンにします。



作成者: SystemKOMACO

アンカー記号が移動した段落に固定されます。アンカー記号の右上に「錠」が追加されています。



注意!

移動した先の段落(行)を移動させると、図も一緒に削除されます。